

令和2年度 活動報告書

国立大学法人 **帯広畜産大学**
産学連携センター



■ 目次

・ 活動報告書発行にあたって	1
・ 組織体制	2
・ 年度計画および実施状況	3
・ 活動実績	5
・ 産学官連携活動実績一覧	7
・ 産学連携センター会議議題等一覧	9
・ 受託研究・共同研究受入実績の推移	12

■令和2年度 活動報告書発行にあたって

昨年から続くコロナ禍の中、産学連携センター活動の中核となる企業や地域の皆様と直接のコミュニケーションが取りづらい状況が続いてきました。この状況を打破するため、ネットによる情報配信やWeb面談等様々な工夫を施してきました。これらの活動の中から、大学が力を入れるICT/AI関連の教育研究基盤を底上げする取組みの一環として、NTT東日本と連携協定締結に繋がりました。また帯広商工会議所との2年にわたる意見交換が実を結び、地域の基幹産業である酪農が抱える牛糞処理問題を解決するための寄付講座として「資源循環学講座」が今年スタートする運びとなりました。また、多くの共同研究を開始することができ、前年度比1.5倍の共同研究費を得て活動を活発化させるなど、地域に根差した産学連携が継続的に進みつつあります。これもひとえに企業等地域の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

今年度は、企業等との連携を更に深化させるため、「企業等集積プラットフォーム」を構築し「おつきあいの文化」を醸成しつつ効果的に大学の情報提供を行ってまいります。同時に、テーマ別ミニ交流会（産学官金交流会 mini）等を企画し、気軽に直接本学の教員と意見を交換できる「共創の場」も積極的に設けてまいります。これらの取組みから、地域の皆様と課題を共有し、個別の共同研究や、複数メンバーの連携による問題解決コンソーシアムを形成できるようさらなる体制を強化してまいりたいと考えています。

また、小樽商科大学、北見工業大学との合意に基づく一法人複数大学方式での経営統合まであと1年を切りました。他大学と協力して農商工連携の一層の拡充を図るべく、三大学によるオープンイノベーションセンター（通称 ACE）の構築を進め、重点テーマとして、「スマート農業」「防災」「観光」に取り組むことに決定しました。スマート農業テーマにおいては、実際に北見工業大学と協力して競争的資金を獲得するなど、三大学の具体的な連携が動きだしております。昨年構築した「オープンイノベーション促進共同研究」といったファンド等も活用し、さらに連携を加速してまいります。

コロナ禍の経験を活かし、また三大学の農商工連携を深化させながら、アフターコロナの社会に相応しい北海道の問題解決や経済活性化に役立てる産学連携センターになれるよう、メンバー一同気持ちを新たに取り組んでまいります。

なお一層のご指導ご鞭撻をいただけますようお願い申し上げます。

令和3年7月

国立大学法人 帯広畜産大学

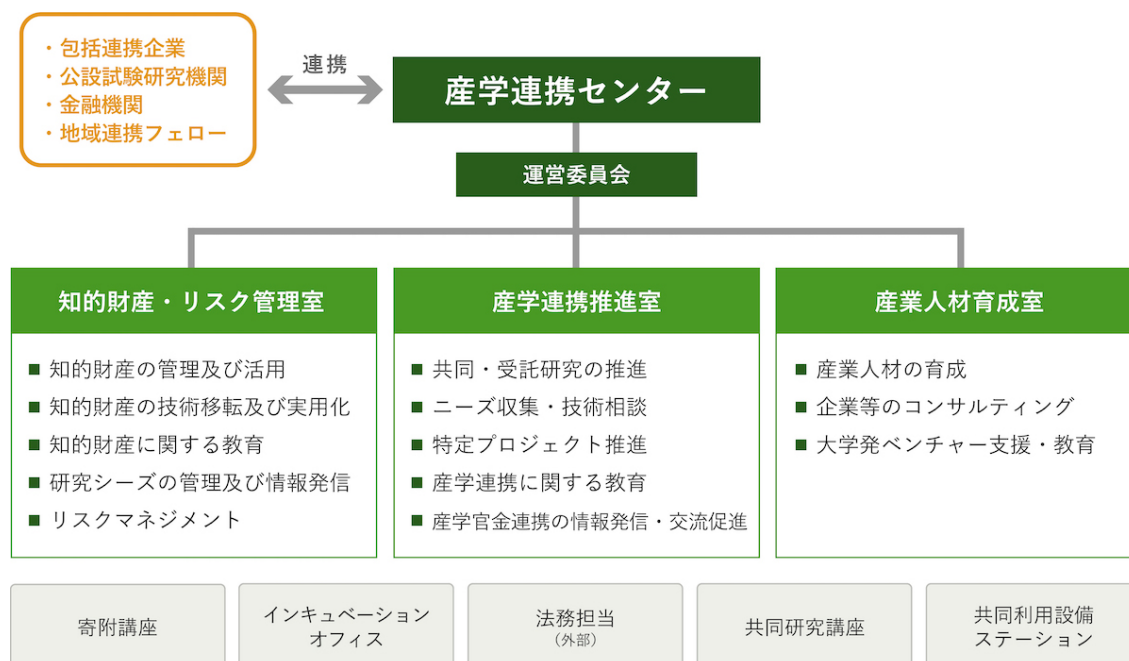
産学連携センター長 大庭 潔

令和2年度 組織体制

1. スタッフ

センター長	大庭 潔（特任教授）
副センター長	東 陽介（特任准教授・産学連携センター）
産学連携推進室長	河野 洋一（助教・環境農学研究部門）
産学連携担当教員	宮下 和夫（特任教授・産学連携センター）
知的財産・リスク管理室長	西川 義文（教授・原虫病研究センター）
産業人材育成室長	仙北谷 康（教授・環境農学研究部門）
産業人材育成室	渡辺 信吾（特任教授・産学連携センター）
知的財産マネージャー	嘉屋 元博
人材育成マネージャー	藤倉 雄司
知的財産コーディネーター	高橋 悠
産学連携コーディネーター	床嶋 瞳（～令和2年12月15日）
産学連携コーディネーター	大津 里菜（令和3年1月1日～）

2. 体制図



■令和2年度 年度計画および実施状況

1. 産学連携センターにおいて、インキュベーションオフィス入居企業及び地域企業との連携を支援する。また、他大学と連携して実施する分野融合型の共同研究を推進する。
 - 産学官金連携交流会は12/17に施設見学会と対面&web配信での講演会を開催。Web配信により昨年を上回る137名（企業数45）に参加いただき交流会の新たな可能性を見出した。産学官金連携交流会アンケートに基づき要望の高かったスマート農業のテーマに絞り、少人数でより密な交流を実現する産学官金連携交流会ミニを3/26に新企画として開催し44名が参加した（web参加者含む）。
 - 大学の情報発信と企業等との交流をより効率化するため、企業等集積プラットフォームを構築した。
 - 企業と連携した共同研究やコンソーシアム作りを加速させるため、地域共創ファンドを創設した。
 - 三大学が参画する農商工連携の共同研究加速を目的に北見工業大学や小樽商科大学と共同で提案するオープンイノベーション促進共同研究を公募し、3件を採択し、実施しうち二件は令和3年度も継続、1件は2年度で終了。
 - インキュベーションオフィスには新たに北一ミート株式会社、株式会社ロジネットジャパン、東日本電信電話株式会社が入居。入居企業が関連する共同研究契約額の合計が1000万円以上となっている。
 - 地域からの要望の強いスマート農業や家畜糞尿の処理・有効活用等を推進していくため、東日本電信電話株式会社や帯広商工会議所との連携協定を締結した。
2. 共同研究・受託研究先企業等の新たな開拓に取り組み、共同研究及び受託研究件数を引き続き合計130件以上実施する。
 - イノベーションジャパン特設web展示に相内助教の研究シーズ紹介で申請し採択され9/28～11/30までweb展示。
 - BioJapan（10/15-16）に参加し本学教員シーズを紹介
 - ビジネス EXPO（11/5-6）に小樽商科大学、北見工業大学と合同で出展し、農商工連携の取り組みを紹介。
 - 一般の方でも理解しやすいよう配慮した産学連携センターのパンフレットを新たに作成。
 - 地域連携フェローに5名委嘱。うち一名は新しい取り組みとして本学OB食品企業に所属の方に委嘱。成果として企業課題（鹿忌避剤検証）が次年度、共同研究に進む予定。
 - 三大学教員、CDとの情報交換による大学間連携の競争的資金を獲得（農水事業6000万、経産省事業1000万）。
 - このような活動により令和2年度は、共同・受託研究数は166件とKPI達成。共同研究費は昨年度比22%増。産学連携センターが関与した連携研究数は54件。
3. フードバレーとかち人材育成事業の、ビジネスコース、食品安全管理コースを実施するととも

に新たに農業経営管理コースを新設する。また、食品安全マネジメントに関して、HACCP 構築および内部監査研修を実施する。

- ビジネスコースの「地域活性化のための経営論」に 18 名参加した。web 研修として実施したことから、札幌、東京からの受講生があるなど、web により参加者の広範囲化が見られた。また、英語コースでは、web 参加により留学生がバングラデッシュから受講することができた。
- HACCP 再構築研修に 6 名、HACCP 研修に 10 名参加した。
- 農業経営者コースに関しては、全 4 回のプログラムを実施し、累計 60 名が受講した。農業生産者コースは 12 月から 3 テーマに分け 3 回実施し 31 名が受講した。このうち ASIAGAP 等で受講が求められている IPM 講習に 11 名、HACCP 研修に 7 名が修了した。
- 食品有害微生物講習は、入門編を実施し 12 名が受講した。この実施に合わせてオンデマンド受講の体制を構築し 1 名がオンデマンド受講した。
- 特別講習として、東日本電信電話株式会社と連携し「AI 活用セミナー」を開催し、農業者、JA および行政等の支援機関の方々合わせて 34 名が受講した。特別講習「SDGs を始めよう」を開催し、33 名が受講した。アンケート結果から、いずれの講習も、継続したセミナー開催を希望する意見が寄せられた。
- ISO22000 内部監査講習会は、事前調査したところコロナウイルスの影響もあり受講希望者が見込めない状況であったため中止とした。

4. デイリースクールを 11 月及び 3 月に開催し、出前講座に関しては開催希望農協と打ち合わせの上、随時開催する。

- コロナウイルスの影響により、個別酪農家が感染した場合のリスクが高いことから延期を決定した。農村部では、インターネット環境も整わない地域が多いことから、テレビ会議システムでのセミナーを断念した。

令和2年度 活動実績

● 受託研究・共同研究

- ・ 受入総件数 165 件
- ・ 受入合計額 194,000 千円

● 出展・技術移転、特許

- ・ イノベーション・ジャパン 2020
- ・ BioJapan2020
- ・ ビジネス EXPO
- ・ 発明届 12 件
- ・ 特許出願 6 件
- ・ 特許登録 4 件

● 人材育成活動

フードバレーとかち人材育成事業

- ・ ビジネスコース 1 件
(地域産業活性化に向けた経営論、企業戦略論)
- ・ 食品安全管理コース 1 件
(食品有害微生物講習 入門)
- ・ 農業生産者コース 1 件
GAP セミナー (GAP 概論、総合的病害虫管理、HACCP 構築手法～畜産編～)
- ・ 農業経営者コース 1 件
農業経営者セミナー (全 4 回)
- ・ 特別講習 3 件 (商品開発講座 デザイン シンキング、AI 活用セミナー 入門編、SDGs を始めよう！)
- ・ 修了生フォローアップ 3 件

● 食品安全マネジメントシステム推進活動

- ・ 社会人向け食品安全に係る講習会の開催 3 件
(HACCP 再構築研修、HACCP 構築 3 日間研修、コミュニケーションセミナー)
- ・ 大学院生向け HACCP 関連教育の開講 1 件
(食品安全に関する関連知識・技能、HACCP システム構築研修)
- ・ 帯広農業高校向け HACCP 概論の講義 1 件
- ・ HACCP 構築、運用管理の支援 5 件
- ・ 外部セミナーでの食品安全に係る講演 3 件

令和2年度 産学官連携活動実績一覧

活動実績	開催日・場所
[公募型共同研究の実施] 帯広市との連携事業「学生と地域とつながるまちづくり支援事業」 令和2年度 帯広畜産大学オープンイノベーション促進共同研究	令和2年5月 ～令和3年3月
[フードバレーとかち人材育成事業] 特別講習「商品開発講座（デザイン シンキング）」	令和2年5月29日～ 6月5日 オンライン開催
[食品安全マネジメントシステム推進事業] HACCP 再構築研修	令和2年6月16日 オンライン開催
[フードバレーとかち人材育成事業] ビジネスコース基礎編「地域産業活性化に向けた経営論」	令和2年6月23日～8月 11日 全8回 オンライン開催
[セミナー参加] ABS 講習会（第3、4、5、10、12、14回）	令和2年6月25日、7月27 日、8月11日、令和3年1 月26日、2月16日、3月 4日 オンライン開催
[食品安全マネジメントシステム推進事業] 社会人向け HACCP システム構築3日間研修	令和2年8月3～5日 オンライン開催
[セミナー参加] 令和2年度 技術移転に係わる目利き人材育成プログラム 「研究推進マネジメントコース」	令和2年9月2、3日 オンライン開催
[展示会出展] イノベーション・ジャパン 2020～大学見本市 online～	令和2年9月28日～11月 30日 特設 Web 展示
[食品安全マネジメントシステム推進事業] 食品製造事業者への北海道 HACCP 構築支援	令和2年9月28日～令和 3年3月16日 全7回
[技術相談] 帯広畜産大学・とかち財団・帯広信用金庫主催「ものづくりワンストップ相談会」	令和2年9月29日、12月4 日 帯広信用金庫
[セミナー参加] 令和2年度 技術移転に係わる目利き人材育成プログラム 「バリュープロデュースコース」	令和2年9月30日、10月1 日、12月2、3日、令和3年2 月4、5日 オンライン開催
[フードバレーとかち人材育成事業] ビジネスコース応用編「企業戦略論」	令和2年10月6日～ 12月1日 全8回 オンライン開催
[会議出席] 帯広畜産大学・道総研連携協議会	令和2年10月 書面持ち回り開催
[展示会出展] BioJapan2020	令和2年10月15～16日 パシフィコ横浜
[食品安全マネジメントシステム推進事業] HACCP とかち倶楽部勉強会	令和2年10月26日、令和 3年2月12日 帯広畜産大学
[会議出席] 産学融合拠点創出事業会議	令和2年10月26日、11月 27日、12月18日、令和3年 3月11日 TKP 札幌駅カンファレン スセンター他&オンライン 開催
[展示会出展] ビジネス EXPO 第34回北海道技術・ビジネス交流会	令和2年11月5、6日 アクセスサッポロ

[セミナー参加] 北海道地区大学等安全保障貿易管理ネットワーク第3回勉強会	令和2年11月18日 オンライン開催
[フードバレーとかち人材育成事業] 農業経営者コース 農業経営者セミナー	令和2年11月20,27日, 12月4,7日 とかちプラザ (現地&オンライン開催)
[シンポジウム参加] 産学融合拠点創出事業キックオフシンポジウム	令和2年11月26日 京王プラザホテル札幌
[コンテスト参加] 道内大学発! VC ピッチチャレンジ2020 (菅沼助教参加)	令和2年12月7日 オンライン開催
[会議出席] 北海道地域大学等知的財産部門連絡会議	令和2年12月8日 オンライン開催
[フードバレーとかち人材育成事業] 農業生産者コース GAP セミナー (GAP 概論、総合的病害虫管理、HACCP 構築手法 ~畜産編~)	令和2年12月15,16日、 令和3年1月19,20日 とかちプラザ (現地&オンライン開催)
[イベント] 令和2年度 帯広畜産大学 産学官金連携交流会	令和2年12月17日 帯広畜産大学 (現地&オンライン開催)
[フードバレーとかち人材育成事業] 特別講習「AI 活用セミナー (入門編)」	令和3年1月21日 とかちプラザ (現地&オンライン開催)
[食品安全マネジメントシステム推進事業] リーダーズコミュニケーションセミナー	令和3年1月26,27日 オンライン開催
[フードバレーとかち人材育成事業] 特別講習「SDGs を始めよう!」	令和3年2月18,22日 オンライン開催
[フードバレーとかち人材育成事業] 食品安全管理コース 食品有害微生物講習 (入門)	令和3年3月2日 オンライン開催
[会議参加] 「北海道十勝発スマートフードチェーンプロジェクト」 準備会合	令和3年3月4日 オンライン開催
[会議参加] 産学連携知的財産アドバイザー派遣先大学全体会議	令和3年3月5日 オンライン開催
[フードバレーとかち人材育成事業] フードバレーとかち人材育成事業 令和2年度報告会	令和3年3月6日 オンライン開催
[会議出席] 2020年度 MMC 全体会議	令和3年3月16日 唐津市民交流プラザ
[イベント] 第1回 産学官金連携交流会 mini~スマート農畜産業編~	令和3年3月26日 帯広畜産大学 (現地&オンライン開催)

■産学連携センター一会議議題等一覧

1 産学連携センター運営委員会

第1回
令和3年3月2日

[議題]

- 産学連携センター長及び副センター長候補者の推薦について
- 客員教員候補者について
- 外部評価の実施について
- その他

[報告]

- 地域連携フェローの任命について
- 年度計画について
- 令和2年度 産学連携推進室活動報告
- 令和2年度 知的財産・リスク管理室活動報告
- 産業人材育成事業の実施状況について
- その他

2 産学連携推進室会議

第1回
令和3年8月6日

[議題]

- 産学連携推進室の活動について
- 第3回帯広畜産大学産学官金連携交流会について
- 産学連携センターパンフレットの制作について

[報告]

- 今動いている特定プロジェクトの進捗について
- 令和2年度オープンイノベーション促進共同研究の採択課題について
- 技術相談対応状況について
- 受託・共同研究の受入状況について

第2回
令和2年10月20日

[議題]

- 第3回帯広畜産大学 産学官金連携交流会について
- 企業連携プラットフォームの構築について

[報告]

- 産学連携センターパンフレットの制作状況について
- 東日本電信電話株式会社との連携協定について
- 帯広商工会議所との連携協定について
- 技術相談対応状況について
- 受託・共同研究の受入状況について

第3回
令和3年3月18日

[議題]

- 企業等集積プラットフォーム・地域共創ファンドの設置について
- 産学官金連携交流会 mini の開催について

[報告]

- 令和2年度 活動報告について
- 技術相談対応状況について
- 受託・共同研究の受入状況について

3 知的財産・リスク管理室会議

<p>第1回 令和2年4月15日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 審査請求について (28-11) ▪ 23-11 特許権の維持について (23-11) ▪ イベント出展について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 特許権の維持について (17-4) ▪ 特許権の維持について (19-5)
<p>第2回 令和2年5月15日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について (2-2)
<p>第3回 令和2年6月22日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について (2-3) ▪ 審査請求について (29-2) ▪ 特許権の維持について (22-8) <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 令和元年度収支について
<p>第4回 令和2年7月16日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 審査請求について (29-1, 2, 3, 29-16) ▪ 審査請求について (29-5, 6) ▪ 審査請求について (29-7) ▪ 研究成果有体物の提供について ▪ 特許寄託微生物の分譲について <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 特許登録について (27-11)
<p>第5回 令和2年8月21日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 審査請求について (29-8) ▪ 審査請求について (29-3) ▪ 特許権の維持について (23-11) ▪ 特許権の維持について (24-11) ▪ 特許寄託微生物の分譲について ▪ 特許権の譲渡について
<p>第6回 令和2年9月15日 (持ち回り開催)</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 審査請求について (29-9) ▪ 研究成果有体物の提供について (2件) <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 特許権の維持について (21-16) ▪ 特許権の維持について (24-5)
<p>第7回 令和2年10月21日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について (2-4) ▪ 発明届について (2-5) ▪ 発明届について (2-6)

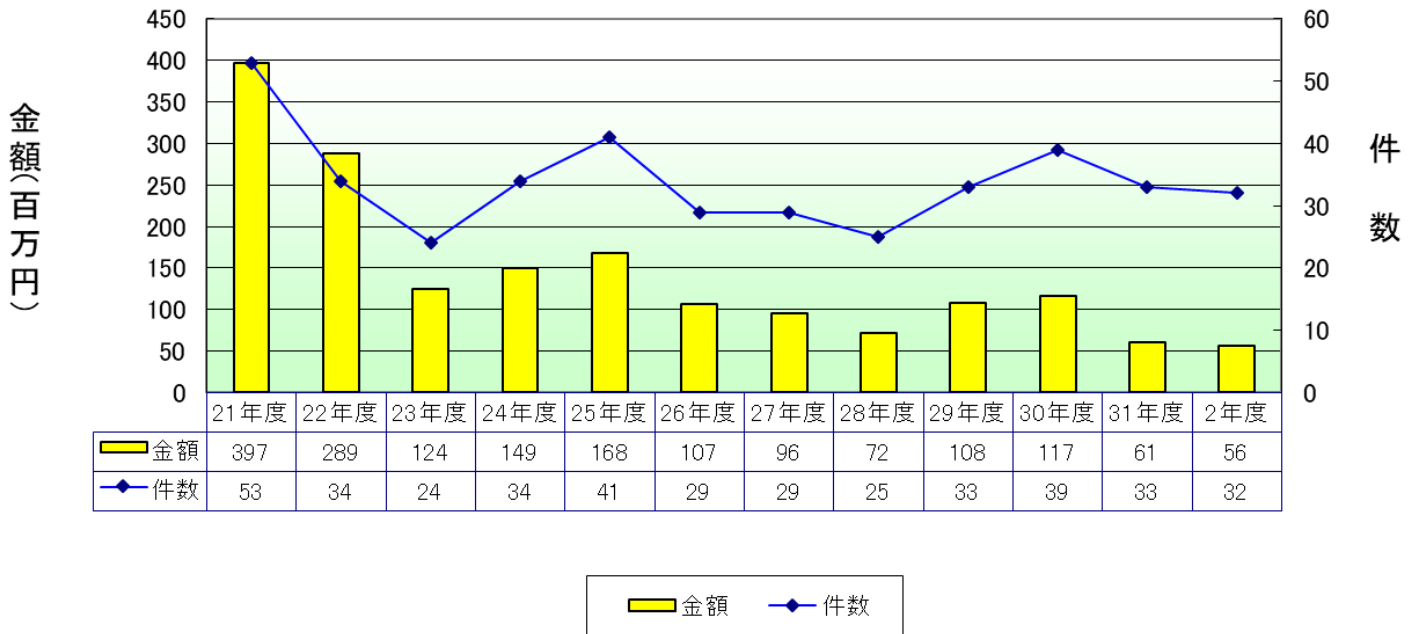
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 研究成果有体物の提供について（2件） <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 特許権の維持について（19-1）
<p>第8回 令和2年11月19日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について（2-7） ▪ 発明届について（2-8） ▪ 審査請求について（28-9） ▪ 特許権の維持について（20-5） ▪ 研究成果有体物の提供について（2件） <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 特許権の維持について（16-18）
<p>第9回 令和2年12月7日 （持ち回り開催）</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について（2-10）
<p>第10回 令和2年12月22日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について（2-1） ▪ 発明届について（2-9） ▪ 審査請求について（29-10） ▪ 特許権の維持について（21-3, 4） ▪ 研究成果有体物の提供について（2件） <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 北海道地域大学等知的財産部門連絡会議について <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について（2-10）
<p>第11回 令和3年1月26日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について（2-11） ▪ 特許権の維持について（17-9）
<p>第12回 令和3年2月19日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 審査請求について（29-10） ▪ 審査請求について（29-15） ▪ 特許権の維持について（23-11, 24-2 各海外分） ▪ 特許権の維持について（24-4） ▪ 研究成果有体物の提供について
<p>第13回 令和3年2月27日 （持ち回り開催）</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 研究成果有体物の提供について（2件）
<p>第14回 令和3年3月25日</p>	<p>[議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 発明届について（2-12） <p>[報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 特許権の維持について（17-4） ▪ MMC 全体会議参加報告

4 フードバレーとかち人材育成事業運営委員会

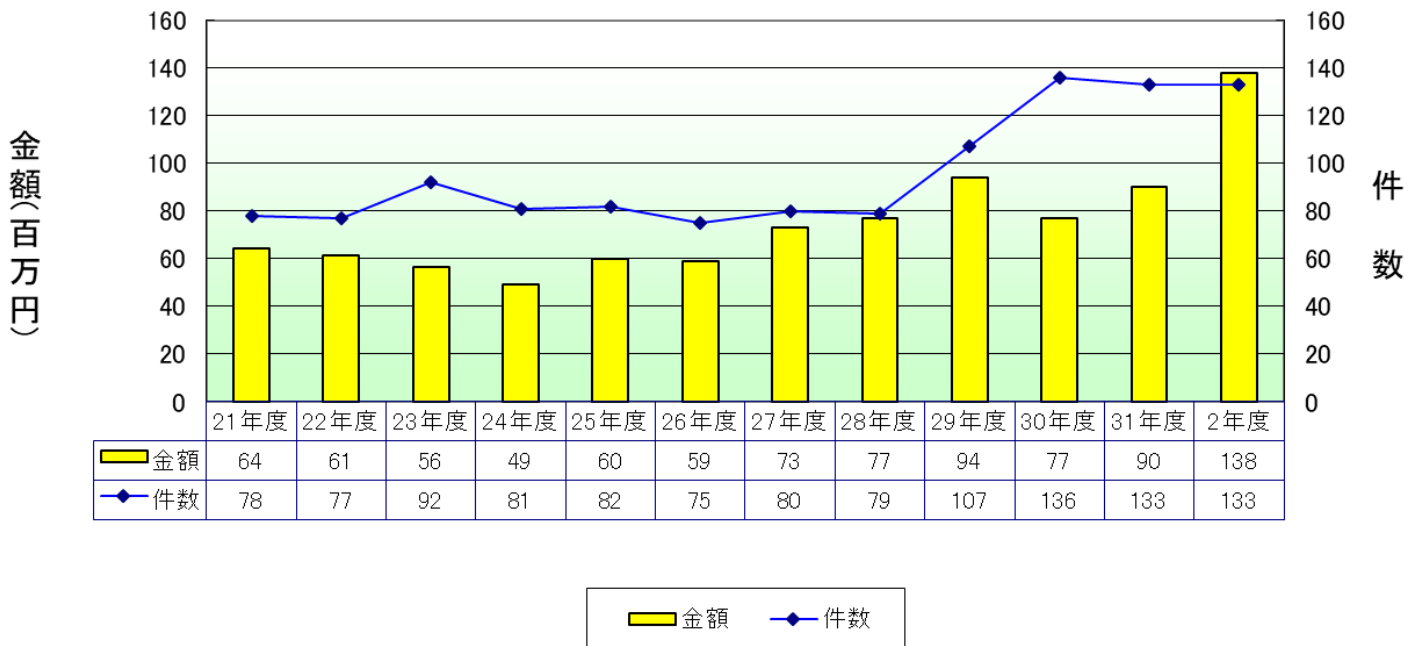
第1回 令和2年5月8日	[議題] (メールによる書面会議) <ul style="list-style-type: none">令和元年度収支決算について令和2年度年間予定(案)について
第2回 令和2年12月28日	[議題] (メールによる書面会議) <ul style="list-style-type: none">講義内容の変更について共同事業計画書の変更について
第3回 令和3年3月23日	[議題] (メールによる書面会議) <ul style="list-style-type: none">令和2年度事業報告について令和3年度事業計画(案)について

■ 受託研究・共同研究受入実績の推移

受託研究



共同研究



国立大学法人 帯広畜産大学 産学連携センター 令和2年度活動報告書

発行日 令和3年6月

発行者 国立大学法人 帯広畜産大学 産学連携センター

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地

TEL : 0155-49-5771 FAX : 0155-49-5775

E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp

URL : <https://www.obihiro.ac.jp/facility/crcenter/>